

つながりにくい相談者への支援

コロナ禍の若年女性への暴力

※相談数値は速報値です。コピー転載は禁止します

※事例についてはプライバシー保護のため統合するなど加工しています。コピー転載は禁止します



よりそい

ホットライン

2011年度より国の補助事業(厚生労働省・復興庁)

1日3万件、1年間で1千万件を超える電話が寄せられる

連携団体は全国に約1700団体、相談員は約1200人

東日本大震災を契機に発足した一般社団法人が運営

取り組んでいる事業①

もう、あなたをひとりにしたくない。

フリーダイヤル つなぐ ささえる

0120-279-338

よりそいホットライン

24時間 通話料無料

※電話番号をご確認のうえ、おかけください

- 24時間、年中無休、無料、匿名可の何でも電話相談
 - 電話と直接支援の2本立ての相談スタイル
- ※詳しくはこちら

<https://www.since2011.net/activity/report/>

2020年度電話数内訳(24000本/日)

	総呼数
一般	6,933,930
ガイダンス	320,645
自殺	733,417
DV女性	514,412
外国語	37,678
セクマイ	112,164
OTHER	280,264
若年女性	12,435
被災者ライン	32,617
コールテスト	14
合計	8,977,576

DV相談 電話・メール・SNS

DV相談^{プラス} 

Language | 日本語

Facebook Twitter

DV相談^{プラス}

**DVのお悩み、
ひとりで抱えていませんか？**

あなたが配偶者やパートナーから受けている様々な暴力（DV）について、専門の相談員と一緒に考えます。
「これってDVかな？」「暴力を振るわれている」「今すぐパートナーから逃げたいけどどうしたらいいの？」「自分だけでなく子どもたちのことも心配」など、どんなご相談もお気軽にご連絡ください。

なお、「DV相談ナビ」（0570-0-55210（ここいでんわ））でも相談を受け付けています。最寄りの配偶者暴力相談支援センターにつながります。
お急ぎの相談については、こちらにご連絡ください。

- 専門の相談員が対応
- 面談、同行支援などの直接支援も実施
- 安全な居場所も提供
- 24時間電話対応
- 10か国語対応

電話・メール 24時間受付
チャット相談 12:00～22:00

電話 つなく はやく
24時間受付 **0120-279-889**

メール
ここをクリック！ **24時間受付**

チャット
受付 12:00～22:00 **チャットはこちら**

※スマートフォンからは右のQRコードよりご利用ください



取り組んでいる事業②

性暴力被害相談 SNS

性暴力に関する SNS相談支援促進調査 研究事業

※コロナ禍で、窓口の広報が充実したことに加え、インターネットを活用した相談の普及により若年層からの相談は増える傾向にあるように見える

取り組んでいる事業③

自分も悪かったから...
そんな風に思い込んで
誰にも相談できずにいませんか？

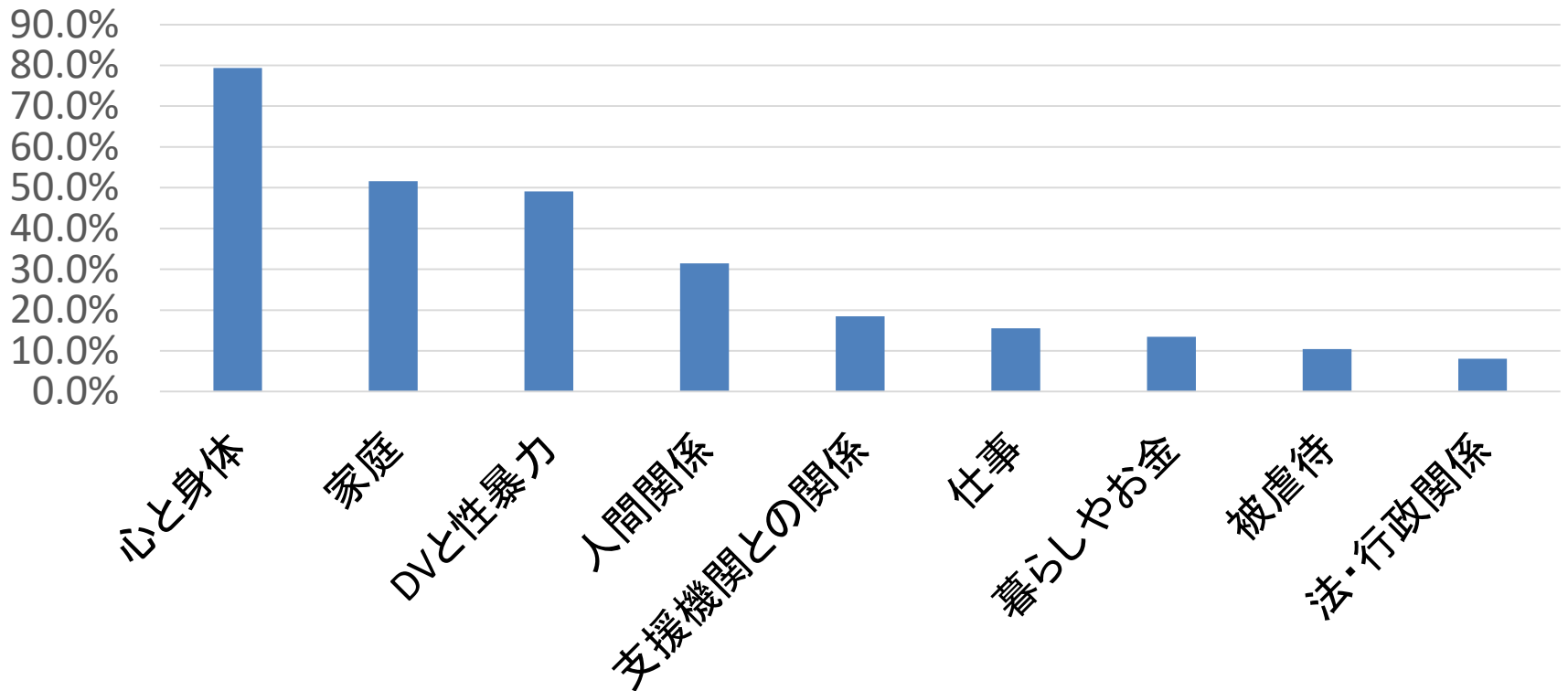
あなたの望まない
性的なことは
全て性暴力です。

The logo for 'Cure time' features a large purple plus sign on the left, followed by the words 'Cure time' in a light blue, rounded font. A smaller purple plus sign is positioned at the end of the word 'time'.

匿名でOKのSNS相談だよ!

女性の約半数がDVや性暴力被害に悩んでいる

悩みの内訳10位まで

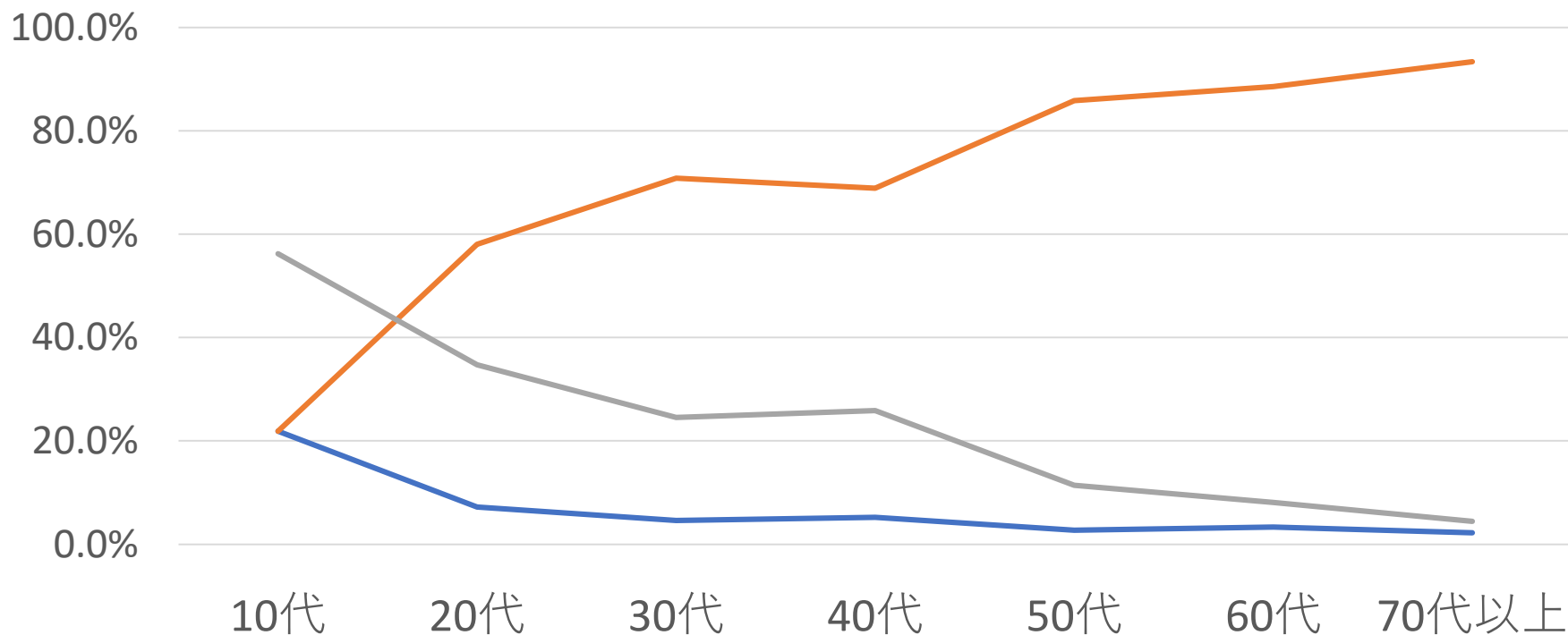


N=14336件

2021年5月よりそいホットライン
女性相談速報値

性暴力被害(レイプ等)は10~20代が多い

年代別の被害の割合



— 性虐待 — DV — 性的な暴力・ハラスメント

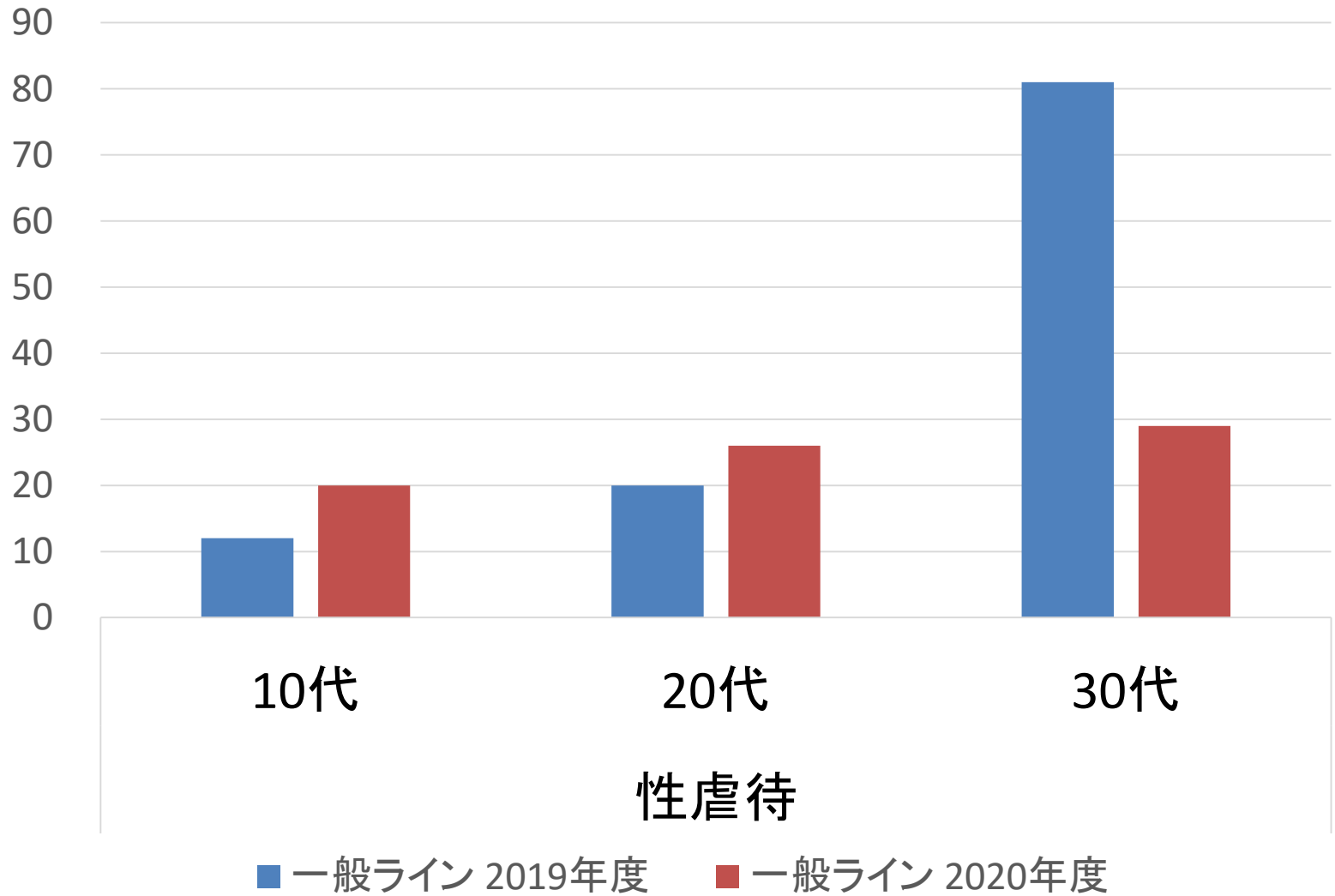
N=14336件
2021年5月よりそいホットライン女性相談速報値

20代45.8%
30代16.2%
18歳・19歳14.8% (2020年内閣府男女間における暴力に関する調査)

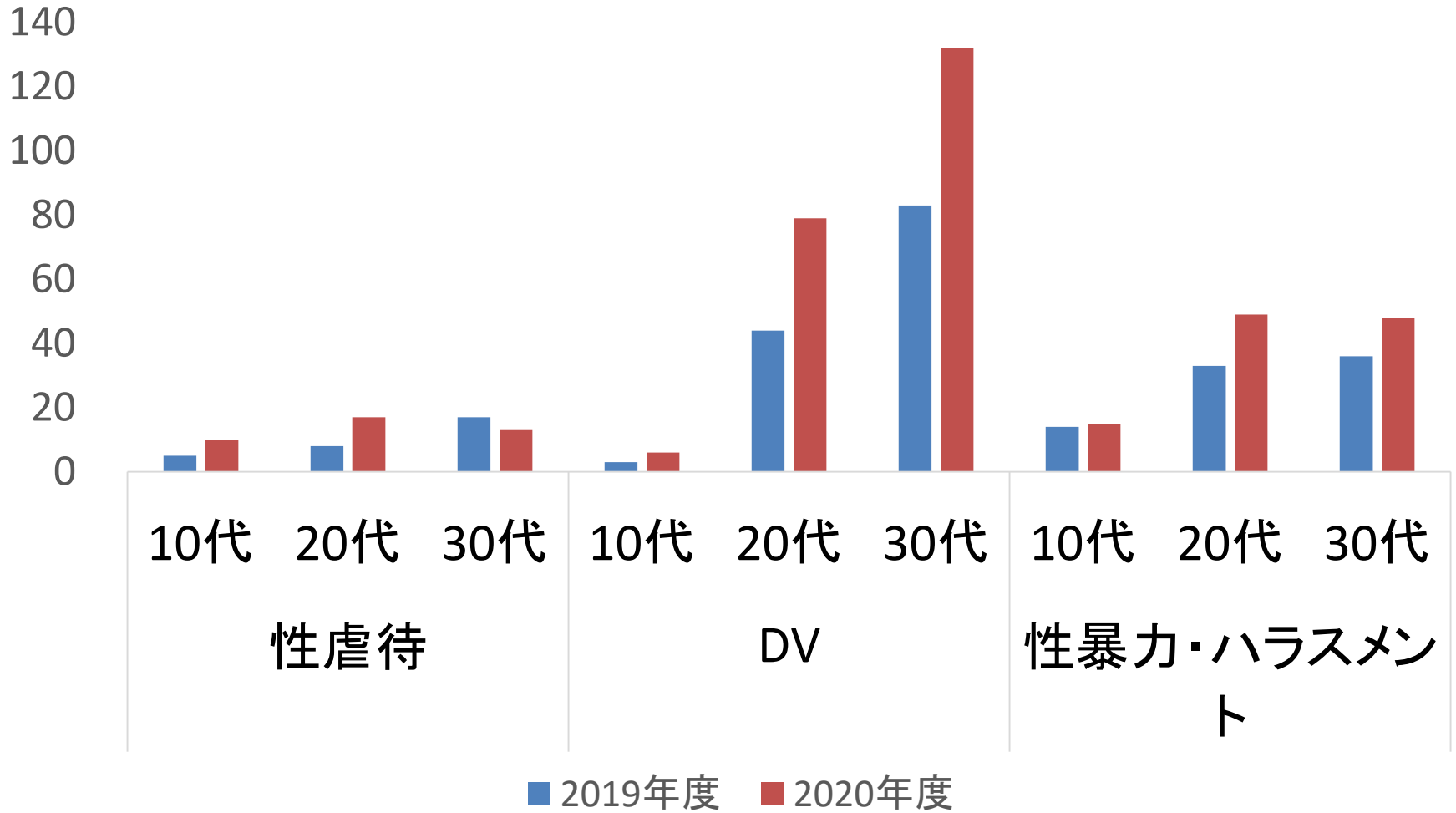
コロナ前後の相談の変化

- ・集計の母数となる女性の相談表数2019年度61017、2020年度 70675件
- ・全体の女性相談数は1.15倍
- ・性暴力被害に特化すると相談数は減少したが増加しているのは
 - ①10代20代の性虐待の相談
一般ラインにおいても、女性ラインにおいても数と割合の増加がみられる
 - ②自殺相談の中のDV・性暴力被害の相談
10代から30代までは性虐待、DV、性暴力被害のいずれも2020年度のほうが多い

一般ライン年度比較



自殺ライン年度比較



若年女性相談者のプロフィール

- メンタルヘルス不調に悩んでいる(通院していても、性被害は語っていない)
- 自殺念慮が強い
- 何かの支援につながっている人が少ない
(若い人はつながっている率が低い)
- 家族他暴力被害の影響が強い
- 多くは「性的な被害(性虐待・性搾取(援助交際など)・性暴力被害など)」に遭遇している
 ➡が、被害と認識していないことが多い
- 情報収集はSNSに偏っており、公的支援は警戒している



相談から見える若年女性のコロナ禍での課題①

家庭の中の性被害

- ・加害者は実父と兄が多い
- ・被害の場所は家の中が圧倒的に多い

- ・小児性愛的なものばかりではなくなった
- ➡娘が成人するまで待つ父など

- ・レイプ被害に並んで、レイプ未満の相談も増えている
- ➡レイプ未満の相談の例
盗撮、冗談にみせかけた身体接触（胸やおしりを触る）

相談から見える若年女性のコロナ禍での課題②

家族以外からの性暴力被害

- ・見知らぬ他人はほとんどいない
- ・雇止めやシフトの減少を恐れる女性に職場の男性が性的強要を行っている
- ・配偶者や交際相手からの経済的搾取が目立つ
- ・生活困窮で売春的行為を余儀なくされ、その場における被害の相談もある
- ・映像や画像を撮影され、脅迫される事例が増加している(交際相手もデジタル性暴力をふるう)

「被害経験」を意識したアセスメントを

- 国連の統計では、生涯に何らかの性暴力被害を受けている女性は3人に1人
- ホットラインの統計から考えると、相談者の2人に一人は被害者である可能性がある
- 性暴力被害の特徴
 - ① 自責の念と羞恥心がある
 - ② 本人が忘れようとしている
 - ③ 他者に対する不信感、日常への不安感がある
 - ④ トラウマや解離による反応がある
 - ⑤ 売春的行為に駆り立てられることがある
- 「つじつまが合わない」行動がある場合は性暴力被害を視野に入れる必要がある



窓口対応でのお願い



- 相談員の性別を選択する問いかけを
- トラウマと解離について学んでおいてほしい
- 性虐待の事実を直視し、可能性を認識する
 - ➡ 両親の介護拒否の背景には性虐待があることも
- 風俗産業従事者からの相談はアセスメントを深く行う
 - ➡ 売春的行為の背景にはレイプ被害があることも
- 「家族」について意識的に取り扱うことが必要
 - ➡ 家族を頼れないことを受容することやセクシュアルマイノリティの視点から考えることも重要となっている



付録的に

- 家の中でも外でも、加害行為を行っている男性の中には、支援が必要な人が多くいる
- 例えば繁華街で声かけなどを行っている男性も、支援につながることによって加害を抑える道もあるのかもしれない
- ホットラインにかけてこられる孤独な男性相談者からも加害の過去（加害を原因とした離婚なども）が想像できる（実際にそういう方は少なくない）
- 性暴力は、他の犯罪と異なり特別な技術や特別な体力は必要なく、ターゲットは身近にいつも存在しているため、加害行為のハードルは大変低い。誰もが、加害者になれるともいえるかもしれない
- 加害者の道は孤独につながるだけだということを、だれか伝えてはくれないだろうか

参考資料

様々な相談者



相談者の「種類」

- ① すでに支援機関につながっている人たち
 - ・ケースワーカーや医療機関につながっているが、うまくいかない
- ② 根拠法がない・体制がない などのためにつながれない人たち
 - ・外国人 ・LGBT ・被災者 ・性暴力被害者
- ③ 自分が支援される存在だと思ってもいない人たち
 - ・若年層に多い(支援されたくない層もある)
 - ・ブラックバイトや非正規雇用
 - ・毒親 ・性虐待被害 ・DV被害
- ④ 制度があるのでつなげられる人たち
 - ・障害がある相談者 ・DV被害事例 ・児童虐待事例 など

つながれないのは②と③

②について

- 外国人
 - 多言語の対応が義務化されていないので、意思疎通ができない
 - 在留資格ごとの対応について地方自治体の裁量が広く、支援の差が激しい
- LGBT
 - 相談できるところ・支援できるところが少ない、支援すべきと定めた法制度がない
 - 相談がカミングアウトになると差別につながる
- 被災者
 - 困りごとへの答えがない
- 性暴力被害者
 - 困りごとを打ち明けられない(社会的スティグマが強すぎる)、二次被害が多い

若年女性支援が政策化されていく

- 困難な問題を抱える女性への支援のあり方に関する検討会 中間まとめ
- <https://www.mhlw.go.jp/content/11920000/000556504.pdf>